

自分も大切、相手も大切 みんなが大切にされる学校に



東京都では、11月を「ふれあい月間」としています。この「ふれあい月間」は、東京都教育委員会が6月・11月・2月に、いじめ・暴力などの問題行動、不登校等の早期発見・早期対応、未然防止等、すべての子どもたちの健全育成を目的として設定されています。特に、いじめは人として絶対に許されません。人権を踏みにじる卑劣な行為です。いじめを受けた人の心の傷は、なかなか消えることはありません。最悪の場合は、命を奪う事態にもなります。本校では年3回のアンケート調査だけでなく、日々の見守りや子どもたちが自由に相談できるよう「あのねポスト」を保健室前に設置し、子どもたちの声をいつでもキャッチできるようにしています。

先日、この「あのねポスト」の中に、校長宛てに「お友達のことについての相談」がきました。これは、担任の先生にも相談できない大きないじめ問題ではないかと心配になりました。しかし、その子と話してみると「友達と仲良く帰りたいが、どうしたらよいか。」という悩みでした。大人からすれば、このような悩みはささいな事に感じるかもしれませんが、その子にとっては大きな悩みです。きっと日常生活の中でのちょっとしたすれ違いをどうしたらよいのか困った結果なのでしょう。

残念ながらいじめは根絶することが難しいです。日々の生活の中で、ささいなすれ違いや誤解から人間関係にゆがみが生じてしまうことがあります。そのときに相手の悪口を言う、意地悪をする、仲間外れをするといったこともあります。自分の気持ちを相手に言葉でうまく伝えられず、つい叩いたり、蹴ったりすることもあります。また、社会ではSNS等のトラブルも多く起きているという現実もあります。

教師の目が届くところではすぐに指導することができます。しかし、いじめは大抵目の届かないところで起きています。保護者や地域の皆様の発見も重要です。

学校では「いじめはどの学級でも起きている」という危機意識をもって、早期発見・早期解決を図れるよう、引き続き、いじめ根絶に向けて取り組んでいきます。ご家庭でも、自分が困っていることはないか聞いてあげてください。そして、意地悪、悪口やものかくし、仲間外れ等、相手が困り悲しむような卑劣なことは絶対にしないようお話してください。学校と家庭・地域で連携しながらいじめの根絶を目指しましょう。今月もよろしくお願いします。

開庁時間等のご案内

随時更新中！

開庁時間

月～金:8:00～17:00
 定時退勤日:8:00～16:30
 土曜授業:8:00～12:00

電話受付時間

月～金:8:00～17:00
 定時退勤日:8:00～16:30
 土曜授業:8:00～12:00

11月定時退勤予定日 5日(水)・26日(水)

※予定が変わる場合がありますので
 ホームページにてご確認ください。



左のQRコードをスマートフォン
 などで読みとっていただきます
 と、江戸川小学校 HP 携帯サイ
 トにアクセスできます。

“えどフェス 2025” もうすぐ開催！

今年も秋の行事「えどフェス」が開催されます。1・3・5年生の作品発表、2・4・6年生の音楽発表の二部構成で実施します。音楽発表の学年は授業以外でも休み時間などを使って、自主的に歌や合奏の練習に励んでいます。作品発表の学年は自分の思いを広げて、作品づくりに一生懸命に取り組んでいるところです。当日は子どもたちの学習の成果をぜひご覧ください。後日、詳しいお知らせを配布いたします。皆様のご来校をお待ちしております。

	時間	音楽発表の部（2・4・6年生）	29日（土）	12：45～13：50
		作品発表の部（1・3・5年生）	28日（金）放課後	14：45～16：00
			29日（土）午前	10：00～11：50
			午後	14：00～16：00
（★両日とも親子鑑賞ができます）				
場所	2・4・6年生	音楽発表	体育館	
	1・3・5年生	作品発表	3階図書館側校舎	



寒くなる季節に向かって ～服装についてご確認ください～

年々秋の訪れが遅くなっているように感じますが、ここ数日は気温もぐっと下がって秋が深まってきました。これから本格的に寒くなる季節に向けて、服装についてご家庭でも話題にいただき、江戸川小のルールを守るようにお願いします。

■ 服装についてご確認ください ■

- ・ジャンパーなどの上着は登下校時に着用し、校舎内では着用しません。
タグ等に記名をお願いします。冬場は上着の忘れ物が多くなります。
- ・フード付きの服を着用するときはフードは被りません。登下校の際は校帽をきちんと被ります。
- ・登下校時に手袋やマフラーの着用できますが、校舎内では着用しません。
こちらも全てに記名をお願いします。
- ・体育の授業ではトレーナー等の上着の着用はできますが、安全面からフードやファスナー付きの上着やマフラー、手袋は着用しません。
- ・ポケットに手を入れたり、上着を腰に巻いたりしません。



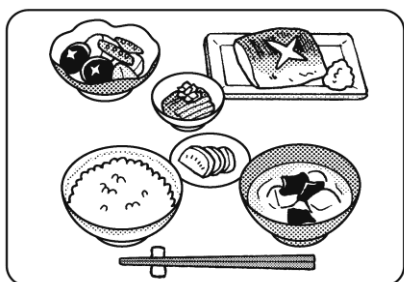
名札等の販売について

名札・校帽・体操服の販売をしているヒロヤクリーニング店ですが、現在も営業をお休みされています。今後、営業を再開される予定とのことですが、再開後の営業は週に2・3日となります。校帽・名札は在庫がありますが、上履きの在庫がない場合は取り寄せになります。保護者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

給食・食育

給食だより11月

11月24日は和食の日



みんなで
まもろう！

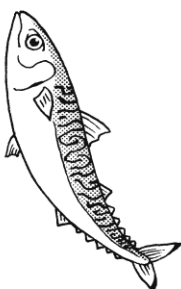
「和食文化」

和食は、料理そのものだけではなく、「自然を尊ぶ」という日本人の精神に基づいた文化として世界に広く認められ、「和食；日本人の伝統的な食文化」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。これは「和食文化」が、人類共通の財産になったということでもあり、わたしたちが、これをまもり、受け継いでいくことが求められています。

和食文化の4つの特徴

① 多様な新鮮な食材とその持ち味の尊重

日本は、海、山、里と豊かな自然の中で、各地域に根差した多様な食材があります。また、素材の味わいをいかす、調理技術・調理道具が発達しています。



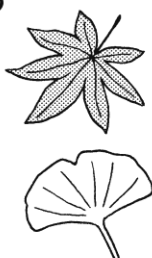
② 健康的な食生活を支える栄養バランス

ごはんを中心に汁物、香の物、3つの菜（焼き物や煮物、あえ物など）を組み合わせる「一汁三菜」は、理想的な栄養バランスといわれます。



③ 自然の美しさや季節の移ろいの表現

季節に合った花や葉などで料理を飾り、調度品や器を利用して、自然の美しさや四季の移ろいを表現することで、季節を楽しめます。



④ 正月などの年中行事との密接なかわり

和食文化は、年中行事と共に深くかかわっています。自然の恵みである「食」をわけ合い、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆を深めてきました。



©少年写真新聞社2025